

自治大卒業生の声

自治大学校卒業生（第2部課程第208期）

千葉県流山市 市民生活部防災危機管理課 宿谷 和秀

編集者注：本稿は、自治大学校における研修の特長などについて、自治大学校の卒業生が記したものです。

1 はじめに

私は、令和7年5月27日から8月7日までの約2ヶ月半の間、自治大学校第2部課程第208期生として研修に参加しました。不安と期待が入り混じる中、緊張の面持ちで入校しましたが、研修の日々は光陰矢のごとくあっという間に過ぎていき、今では懐かしき良き思い出です。

そんな自分が過ごした体験について、今後、この研修に参加される方のために記していきたいと思います。

2 入校を決意するまで

自治大学校は、昭和28年に設置された大変由緒ある学校であり、将来の地方公共団体を担う幹部候補生の養成を目的とした本研修では、全国各地の自治体から集まった仲間と寝食をともにし、勉学等に励みます。

私がイメージしていた自治大学校の研修は、各自治体の知識・経験に富んだ才覚あふれる精鋭たちが集うもので、自分には縁遠いものだと思っていました。

自身の能力の範疇を超えていることから、この研修に参加すべきか葛藤もありましたが、有難いことに職場の上司や家族等が背中を押してくれたため、覚悟を決めて参加しました。実際に研修に参加してみると、各自治体の精鋭たちは、知識や経験の浅い自分にも温かく親しみをもって接してくれたため、とても安心したことを覚えています。

なお、入校までに、法制課目のe-ラーニ

ング履修と演習関係の事前課題があります。演習関係の事前課題については、自分で選択した分野について、市の現状や経緯の把握、問題点の発見、自身の見解等をまとめる必要があることから、他部署の職員に聞き、教えてもらいながら進め、人脈や知見を広げる良い機会となりました。

3 講義・演習について

自治大学校で行う研修は、大きく講義課目と演習課目に分かれています。

講義課目では、法制や税制、教養、公共政策や行政経営、その他最新の政策課題などに関する課目があり、幅広く様々な分野の講義を受けました。講義は、大学教授をはじめ、国家公務員や民間企業及び団体の代表者、市長など、各分野の第一人者が講師を務めてくださり、その知識の広さや深さに驚くとともに、日々、自分の知らない世界に触れることがとても新鮮でした。今後の自治体の在り方や求められる職員像、人口減少を見越した国の方針、東京一極集中時代からの脱却と豊かになった人々が求める地域の在り方など、行政に関わる様々な分野の講義を受けることで知見を広げることができました。

演習課目では、指定事例や各自治体から持ち寄られた事例について討議し、整理・要約の上で報告や発表を行う演習や、特定の自治体に関して、現状の分析や課題の抽出を行い、政策を提言する政策立案演習を行いました。限られた時間の中でこれらを実施するためには、合理的かつ効率的に話し合いを進める必要があり、見解の相違等を調整して統合していくことには困難が伴い

ましたが、自分には無かった多角的な視点からの意見や、各自治体の施策に関する具体的な取組み等を知ることができる大変良い機会であり、行き詰った際などにいただいた指導教官からの助言は非常に的確であり、深く学ぶことができました。

4 督生活について

私が受講した第2部課程第208期では、法制集中研修のみを受講するメンバーも含めて、全国から51名が参加しました。年齢層は、30代半ばから40台後半と幅広く、所属する部署や役職も異なります。

平日の講義後は、各フロアの談話室に集まり、仲間と親交を深めました。各地の特産品や方言など、それぞれの文化に触れることがとても新鮮でした。

自治大学校は都心部へのアクセスも良く、仲間と一緒に各種スポーツ観戦や観光地巡りなどを行いました。屋形船やバーベキュー、その他飲食店等で過ごした日々は、かけがえのない思い出です。中でも、研修最後の休日に卒業旅行として観光した伊香保温泉の思い出は深く印象に残っています。フロア対抗のボーリング大会や野球の試合では、年甲斐もなく熱くなってしまったことを思い出します。

また、自治大学校の教務部として面倒を見ていただいた職員の方等にも親切にしていただき、お陰様で充実した日々を送ることができました。心より感謝しています。

研修最終日となる卒業式では、今まで過ごしてきた日々を思い返し、寂しさも相まって込み上げてくるものがありました。この研修の場で築き上げた仲間との関係は一生の宝物であり、それぞれの自治体における今後の活躍を祈りながら帰路につきました。

様々な場所や立場で状況が異なる仲間たちとの共同生活を通じて、多様性や考え方

の違いなどを実感し、かけがえのない時間を過ごさせてもらいました。

5 おわりに

研修中は、演習や効果測定など苦しいこともありましたが、総じて本当に有意義で、自身を成長させてくれる経験ばかりでした。仲間と親交を深める時間と講義や演習等で学ぶ時間のメリハリをつけながら過ごしたこの約2か月半の研修で得た経験は、人生の貴重な財産です。

この研修でお世話になった自治大学校関係者の皆様のほか、背中を押してくれた家族や職場の上司等への感謝の気持ちを忘れず、自治大学校の研修テーマでもある「自分で調べ、考え、判断し、人に正確に伝える」という一連の行為を今後の業務に活かし、職責を果たせるよう努力していきたいと思っています。



7階フロアメンバーと卒業式で